

<添付資料4> 街区イメージと開発のポイント

街区設計のPoint 1
シンボルツリー「八重桜」のあるエントランスパーク
 シンボルツリーのある、四季折々の美しさが計算されたエントランスパーク。大人も寛げる、落ち着きのある、幾年も憩える公園です。



※エントランスパーク

街区設計のPoint 2
歩行者専用のエントランスを2カ所に配置



※歩行者専用エントランス

歩行者専用のエントランスを2カ所に設けました。安全性を高める歩車分離の思想がこの街の設計には活かされています。

街区設計のPoint 3
街並の美しさと安全性を高める、緩やかにカーブするメインストリート
 美しい家々がづく予感が楽しい、緩やかにカーブするメインストリート。車のスピードを抑制する設計です。



※ファインコート園分譲マンション（分譲先）

敷地計画図



※街区イメージイラスト

街区設計のPoint 4
風格を語るメインエントランス
 街の顔となるメインエントランスは、風格のゲートウォール。ここは、入口の絞られた、連続するウォールに守られる特別な街です。車両の出入口はメインとサウスエントランスの2カ所のみです。



※ゲートウォールイラスト



※街を囲うゲートウォール

街区設計のPoint 5
インターロッキング舗装とイメージハンブ



※インターロッキング舗装

歩行者の優先道路部にはインターロッキング舗装やイメージハンブ（ドライバーへ視覚効果を与えスピードを減速させる工夫）を施し、歩行者の安全性に配慮しました。

街区設計のPoint 6
街の安全を考えた三差路、緑が溢れる8カ所のグリーンフォルト
 街の安全性を考え、十字路を1カ所に抑え三差路を中心に設計しました。また三差路に緑地帯、グリーンフォルトを設置。緑が穏やかに街の隅々を彩る設計です。



※グリーンフォルトイラスト

